



さかもと あきひろ
坂本 晃彦 さん

切畑おやじの会 他 etc...

弥生担当の地域おこし協力隊員、藤原がミタ!! YAYOIのキラリ人を紹介するコーナーです。今回は弥生の番長! ?の坂本さんにお会いしてきました。



切畑おやじの会の皆さん

もっと!

弥生の魅力と旬な人、情報等をお届けするニューズペーパー

やよい通信

vol.5
2021
7月

発行：弥生まちづくり協議会



生姜の町・やよい
イメージキャラ
しょうがくん

弥生地区は佐伯市中心部から近く、自然もほどよい暮らしやすい地域です。この弥生地区を「もっと!」楽しむために、おもしろく役立つ情報を不定期でお届けしています。

Topics

- 1: 道の駅やよいインフォメーション：遊べる道の駅に!
- 2: 番匠おさかな館に珍キャラアニマル続々登場!
- 3: イベント情報：第21回水辺の里の音楽会、番匠商工祭
- 4: 特集 地域おこし協力隊 藤原 千恵「私の挑戦～地域おこし協力隊としての3年間」
- 5: 弥生の森と清流を守る会が表彰されました!
- 6: 地域おこし協力隊はミタ!! YAYOI★のキラリ人 (坂本晃彦さん)

道の駅やよいインフォメーション

地域の自然や環境を活用したアクティビティを充実させ、遊べる道の駅に!

駅長の木許です。道の駅といえば、その地域の農産物や特産品の販売、郷土料理などが楽しめるお食事処はあるものですが、道の駅やよいは温浴施設に水族館まで兼ね備えた欲張りな施設であることはご存じだと思います。そこに令和3年5月から、SUPとレンタサイクルといったアクティビティ事業をプラスして、さらに道の駅の魅力を高めました。

SUPですが、まずは90分の初回講習を受けてもらい、安全に乗れると判断された方にSUPカードを発行します。カードを発行された方は、レンタルで決められた範囲を自由に遊べる他、約3kmの川下りにも挑戦できます。当日対応は難しいので、できれば5日前まで予約を行なってください。これからの季節にぴったりなアクティビティですよ。

次にレンタサイクルですが、クロスバイクが6台、電動アシストがついたEバイクを3台用意しています。おすすめはEバイクで、電動アシストを使えば坂道でもスイスイ進むことができます。4時間、8時間のレンタルを基本としますが、1時間のレンタルもあり、お試して乗ってみるのもよいですよ。自転車で遠出してみれば、車の移動では気付かない新しい発見があるかもしれませんよ。

また、やよいの湯の地下休憩所の2部屋に、国際規格サイズの卓球台を1台ずつ設置しました。一部屋がおよそ縦9m、横5mあるので十分な広さがあります。新型コロナも心配されますので、一部屋の利用人数は当面の間4人までですが、家族の場合は4人以上でもOKです。シングルスでもよし、ダブルスでもよし、雨の日でも楽しめます。卓球で盛り上がった後は、お風呂に入って日ごろの疲れをとってはいかがでしょう。

「買う」「食べる」「癒し」「見る」の他、周辺環境を活かした体験「遊ぶ」も取り入れ、ますます充実した道の駅となりますので、皆さんも是非ご体験ください。



道の駅で
遊ぼう!

※レンタルの際は
必ずヘルメットを
着用します

サイクリングも好き! E-バイクに
乗る木許博基駅長

○SUP体験 受付:番匠おさかな館
0972-46-5922



初回講習 (90分)
 高校生以上: 4,000円
 中学生以下: 3,000円
 レンタル (90分)
 高校生以上: 2,000円
 中学生以下: 1,000円

※SUP体験は
小学4年生
から

○レンタルサイクル
受付:やよいの湯 0972-46-5841

遊ぶ

クロスバイク
1時間: 300円
4時間まで: 1,000円
8時間まで: 2,000円

E-バイク (電動アシスト)
1時間: 500円
4時間まで: 2,000円
8時間まで: 4,000円

やよいの湯地下

地下卓球ルーム
30分: 600円
60分: 1,000円

●坂本さんとの出会い
坂本さんとは、協力隊に就任して3か月後、「弥生地域を元気にする会」で初めてお会いしました。その名の通り、弥生地域で色々な活動をされている方々20名位を集まりで、目力強く、弥生愛を語り、「切畑おやじの会」のことなど活動されている様子を話されていたのが印象的でした。パワフルで楽しそうな方だな、というのが私の第一印象です。



●弥生愛
坂本さんは、弥生に住み始めて24年になります。生まれは津久見市で、ちょうど人生の半分以上を弥生で過ごしたことになります。いまやすっかり弥生人です。いまから11年くらい前に切畑小学校PTA会長を3年間務め、当時の副会長に以前あった「切畑おやじの会」を復活させてほしいといわれて再開しました。おやじの会ではもともと身近なお困りごと、例えば、切畑小から避難場所までの草刈りをしたり、なかなか手をつけづらいランチルームの清掃や整備もしました。そして地域活動をしている中、弥生の「みなこい祭り」での出店を求められたことをきっかけにやきそば作りを始め、いまでも、弥生の「夏宵まつり★弥生」をはじめイベント事があると「切畑おやじの会」でやきそば出店に快くかけつけてくれています。

●弥生の好きどころ、そしてこれから
周りの人に恵まれてきたからこそ、いまの自分がある、とのことでしたが、二期一会を大切にされる坂本さんだからこそ、この人にお話ししたい! と思って、周りの人が自然と慕ってくるのだらう、と思いました。今はイベントも少なく、やきそばを作る坂本さんの姿をみるのができませんが、地域から求められるという100%以上の力を発揮して取り組まれている坂本さん。交通安全協会の交通指導員として、平日には番匠交差点近くの横断歩道で、旗をふっています。「今後はもっと若い人たちの助けになればいい、と思っていてくれるけれど、まずは自分が楽しむのが一番! 頼られるうちが花だから、なるべくできることは引き受ける。できない理由よりどうやったらできるか? ということを考えてやってみる。ちょっとかっこいいこと、いいこと、よね(笑)」と話されている坂本さんですが、とにかく引き受けたら前に進み、やり遂げていく姿勢は素晴らしい、とてもかっこいい! と思いました。これから先、坂本さんがどんなことを始めていくのか、とても楽しみです。



坂本さんの娘さんが、当時、「弁当の日」に作った可愛いお弁当です。

●切畑小PTA会長の後は昭和PTA会長を2年、その後、佐伯市PTA連合会会長と昭和PTA副会長を3年兼務して、鶴城高校では会計監査4年、PTA副会長2年と学校との関わりを深めていきました。その中で、小中高で一貫して取り組んできたことが子どもが弁当を作る「弁当の日」です。きっかけは、九州大学で大学生へ向けた「自炊塾」を行っていた比良松農学博士と当時市役所職員だった柴田真佑さんとの出会いでした。坂本さんは当時金髪だったこともあり「(金髪)す。」「自然と呼ばれるようになったそうです。



編集後記

昨年度は新型コロナウイルス感染症のため、いろいろなイベントが中止となりました。今年の春には収束し、今までのようにイベントが開催できるようになるかな? と思っていたら、まだ新型コロナウイルス感染症の猛威は続いています。「今年は開催するぞ!」と意気込んでいたものの、「う〜ん」って感じかな? いずれにせよ、開催する場合は感染症対策をしっかりやらないといけませんね! 「コロナウイルスさん! もういいでしょう!」鎮まれ〜

発行：弥生まちづくり協議会
〒876-0112
大分県佐伯市弥生大字上小倉 656-1
(弥生振興局内)
TEL: 0972-46-1111

もっと!

弥生の魅力と旬な人、情報等をお届けするニューズペーパー

やよい通信

vol.5
2021
7月



鎮まれ
コロナ退散

番匠おさかな館に珍キャラアニマルが続々登場！?

最後に5月28日に木立で捕獲された金のスッポンです。金といっても実際は黄色いスッポンです(笑)。一見、生まれつきメラン(黒の色素)を作ることができないアルビノかと思いましたが、アルビノの場合は眼の色も欠乏し、血液が透けて赤くなります。けれど、このスッポンは眼の黒い色素が濃いのでアルビノではなく、体の黒い色素がほぼ欠乏し、黄色の色素で覆われた黄変種だと思われまふ。この目立つ色で生き延びたことは運がよいといえ、とてもおめでたい色なので金運UPのご利益があるかもしれませよ。

次に、前回のやよい通信で、オイカワとカワムツの雑種、通称：オイムツを紹介しましたが覚えてますか？オイカワもカワムツも5月頃から繁殖期を迎え、どちらのオスも婚姻色といって体が鮮やかに変化するのでこのオイムツはオスだったので、5月頃から婚姻色になりました。その姿は2種の婚姻色を足して2で割った感じです。元々、どちらの婚姻色も派手なので、その雑種のオイムツもとても魅力的な姿をしていますよ。

今年3月に城下町佐伯国木田独歩館の裏庭の池で黒くないアカハライモリを捕獲しました。通常、イモリといえは黒い体に赤いお腹が特徴ですが、このイモリはベージュの体に赤いお腹でした。色素の異常により黒い色素がととも少なく、このような体色になったと考えられます。名前は採れた場所にちなんで「どっぽくん」と名付けました。イモリが苦手な人でも可愛く感じられるのではないのでしょうか？



金のスッポン



オイカワとカワムツの雑種
通称：オイムツ(婚姻色)



オイカワ(婚姻色)



カワムツ(婚姻色)



黒くないイモリ
「どっぽくん」



今も元気な青アユ



立川館長も
びっくり!

番匠商工祭

今年で10回目を迎える番匠商工祭。昨年はコロナの影響もあり止む無く中止、今年の開催も危ぶまれましたが、「町を元気にしたい」「子供たちの笑顔が見たい」という思いから、開催する運びとなりました。ステージイベント、うちわ抽選会、鮎つかみ取り、SUP体験、番匠川探検隊、出店など企画しております。皆様のご来場をお待ちしています。

日時 8月8日(日曜日)10時~15時
場所 道の駅やよい 特設会場

問合せ先 番匠商工祭 46-0402

※新型コロナの感染状況により、一部イベント中止、または祭り全体の中止の可能性もあります。



きてね〜

弥生吹奏楽団が表彰を授与!!



番匠商工会青年部
部長
吉見正二郎さん

弥生吹奏楽団は長年の活動が称えられ、6月11日佐伯市観光協会よりツーリズム功労者として表彰されました。※表彰を受ける市原美香さん

イベント情報

水辺の里の音楽会

21回目を迎えた水辺の里の音楽会。ダンスとコラボしてNiziUの曲や、昔懐かしい曲、ディズニープリンセスメドレーなど、見に来ていただいた方々と触れ合いながら、楽しく演奏できればよいな♪と思うレパートリーを考えました。弥生吹奏楽団のキャラクター?やよいマンもリニューアルしてパワーアップ!お楽しみに!!

また、音楽会の前には、フラダンスやストリートダンスなどのパフォーマンスもあります。MCは梶川善寛さん。野外での開催ですので、風の音、川のせせらぎも一緒に感じながらの演奏、夏の暑い日々への安らぎになればうれしいです。コロナ対策を行い開催予定です。マスク着用でお過ごしください。道の駅やよい夜市も同時開催です。

日時 7月31日(土曜日) 17時~
場所 道の駅やよい、ウッドスペース
内容 17時~



問合せ先 弥生吹奏楽団
団長 市原 090-5296-3351

地域おこし協力隊、藤原千恵

私の挑戦~地域おこし協力隊としての3年間

特集

こんにちは。YAYOI★のキラリ人のコーナーを担当させていただきました地域おこし協力隊の藤原です。

早いもので、6月末をもって地域おこし協力隊としての活動任期3年を終えることとなりました。道の駅やよいを中心とした地域振興の活動のひとつとして、着任当初より、弥生販売物出荷協議会の定例会などに参加させていただき意見を聞きながら、野菜・果樹講習会を3年間、延べ12回開催しました。長いようで短い3年間でした。特に最後の1年はあっという間に過ぎていったように思います。その中でさまざまな方との出会いがあり、この弥生地域で活動できたことを心より感謝しています。

「生姜の町やよい」が縁で知り合った生姜部会の皆さんからは、生姜栽培や加工の様子を見せていただいたり、道の駅やよいのスタッフの皆さんとは「あゆのちょんがけ」や「やよいグルメウォーク&ラン」などのイベントで一緒にさせていただきました。弥生販売物出荷協議会が毎年行う「門松づくり」に「鏡開き」、「鍋物祭り」にも参加させていただき、皆さんの手際の良さに感嘆しました。道の駅やよいで開催する大収穫祭では、わらを使った手作りのクリスマスリースと正月飾りのワークショップを行ない、参加された方がお友達や家族と一緒に楽しんでいただけたこともよい思い出の一つです。3年目は、やよいこども園の前の畑(しょがたんばた)で野菜作りを行いました。園児たちとニンジン掘りをしたり、ハロウィーンでは、先生と子どもたちによってジャンボカボチャが見事な「ジャックオーランタン」に変身していました。畑の野菜を持っていくと、栄養士さんが調理する前に子どもたちに見せて野菜のお話をしたことや、子どもたちが食べている様子などを聞かせていただくのも嬉しく、野菜を作ることの喜びを感じました。また、「ツール・ド・佐伯」のエイドステーションでは生姜加工部会の皆さんと生姜商品のふるまいで選手を応援したり、県内一周駅伝では大間婦人会の皆さんと仮装をして踊って応援していた中に、明治小の子どもたちも飛び入りで加わって一緒に踊り、選手へエールを送ったことも楽しい思い出です。

任期の間に、道の駅やよいを中心とした弥生の山と川のある里の景色を楽しめるフットパスコースも整備され、今後はサイクリングやSUPなども本格的に始まり、違った弥生の良さを味わってもらえるアクティビティが充実してきて楽しみです。

退任後は、引き続き弥生に住み、有機農業に挑戦していきたいと思っています。3年間お世話になり本当にありがとうございました。また、お見かけの際にはお気軽に声をかけてください。



野菜・果樹講習会



やよいこども園にんじん掘り



ツール・ド・佐伯
エイドステーション



野菜教室



SUP ヨガ体験



弥生の森と清流を守る会が表彰されました!!

番匠川や井崎川沿いの清掃・植樹活動が評価され河川愛護活動表彰を受けました。授賞式に出席した高司政文会長は「長年の活動が認められてうれしい。これからも山青く水清き文化の里、弥生の美しい自然を次世代に残すために頑張りたい!」と語っていました。



5月17日 佐伯市川を守り水辺に親しむ会にて

